

プロップステーション&日清製粉 第3回「神戸スウィーツ・コンソーシアムin東京」開催

社会福祉法「プロップ・ステーション」竹中ナミ理事と日清製粉(佐々木明久社長、は月15日、昨年に続き日清製粉小田町ビルで、第3回の神戸スウィーツ・コンソーシアムin東京を開催した。受講するテイシエを指導するチャレンジド(障害のある人)講師には八木洋司氏(モロゾフ)、永井紀之氏(フリエット)、西川功賢氏(フリエット)、シノワ、野澤孝彦氏(コンデイトライニス)に加え、新しく近藤孝子氏(フリエット)、白岩忠志氏(フリエット)が参加した。また今回から総務所の協力により、講習の模様をインターネットで、全国の作業所や施設に同時動画配信し、チャレンジドが会場に足を運ぶことなすを取り組みを開始した。

パティシエを目指す 8人のチャレンジドが受講

開講式はプロップ・ステーション(以下素晴らしい。総務)の竹中宏晃理事(省)で2010年までに国民の進行で、竹中理事長が、みんなが見られようというあいさつしたあと、来賓のソブラを授けたい。主催者原口一博総務大臣が「密き」の日清製粉・石神真二取締役がライブ中継き、役研究開発本部長は、この取組、作業所や自宅で見られプロジェクトは社会福祉法



中央が竹中ナミ理事長と原口一博総務大臣



日清製粉・石神真二 取締役研究開発本部長

日清製粉・山田貴夫 営業部長

人行政、企業、ボランティアなどが垣根を超えてコラボレーションする取り組みで、各分野の広げを出し合って、さらに広げていける。超一流のテイシエのもの一人でも多くここから習得したいという協力をしたい」とあいさつした。

後援の厚生労働省・木倉敬之社会・援護障害保健福祉部長、農林水産省・藤本一郎大臣官房参事官、東京都・芦田真吾福祉保健局長、障害者施策推進部長、兵庫県・東徹志東京事務所長、神戸市・東海林勉保健福祉局参事がそれぞれあいさつした。講師6人と助手8人、



あいさつする日清製粉・佐々木明久社長

を組む、世界的なパティシエの熱心な協力に支えられ、素晴らしい取組もなっている。私もとても一生懸命協力していきたい」と結んだ。

開講式に先立ち主催者と

ダイナミックネット

愛知電熱株式会社
名古屋市中区中切町1-8-4
TEL (052)916-1611(代表) 462-0851
URL http://www.mirai.ne.jp / aichi-d
E-mail: aichi-d@e.mirai.ne.jp

講師陣が記者会見した。この中で、主催者協力会代表の表の日清製粉山田貴夫製粉第一営業部長は「パティシエを目指すチャレンジドの意向について、これらのパニアップをしていくが、い」と話した。



「フィナンシェ」の実習。右の永井紀之講師が丁寧に教える

の皆さんとの架け橋になれば、という思いで思長く、いっほ簡単にできる、受講者が作業所に戻り、元気がこの取り組への賛同者が広げたい。今、サボートも大切で、長期的に意欲的仕事をすること、第1歩と大切。講習後の、に少しずつ進んでいく、何なりとも本人のやる気が大きくなり、そのやる気